

一 般 質 問 通 告 書

令和8年5月21日

前
午9時18分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和8年5月21日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 柴田 一雄



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	市内公共施設の利活用と歳入確保について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市内公共施設の利活用と歳入確保について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本市では、昭和40年代後半から昭和60年代にかけて多くの公共施設が整備され、現在、それらが更新・建替えの時期を迎えております。今後、多額の維持更新費用が必要となることが見込まれる一方で、少子高齢化の進行に伴う税収の減少や社会保障費の増加により、財政状況は一層厳しさを増すことが予想されます。</p> <p>こうした中、本市では「公共施設マネジメント基本方針」や「公共施設再配置基本計画」、さらには「公共施設再配置個別計画」を策定し、施設の適正配置や総量の縮減に取り組んできました。しかしながら、当初掲げた延床面積の縮減率20%という目標については、地域からの要望や様々な制約もあり、達成は困難な状況にあります。</p> <p>つまり、今後も一定数の公共施設を維持していかざるを得ない現実がある中で、従来のような「保有し続ける」発想だけではなく、これらの施設をいかに有効に活用し、価値を高め、さらには歳入の確保につなげていくかという視点が、これからの自治体経営において極めて重要であると考えます。</p> <p>公共施設はコストではなく、市民共有の貴重な資産であります。施設の廃止、複合化、譲渡などを検討する一方で、活用可能な公共施設については、稼働率の向上と収益化を図り、「使われる施設」「稼ぐ施設」へと転換していく必要があると考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>本市の公共施設の利活用について、現状の認識から稼働率の向上と歳入確保について確認します。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 本市には、湖西運動公園、湖西市アメニティプラザ、湖西市新居地域センター、湖西市中央図書館など、他にも多くの公共施設が整備されているが、特に市民が活用している教育委員会管理の公共施設の稼働率</p>	

について、時間帯別、平日、休日、昼間、夜間といった区分で把握はされているのか確認します。

2. 施設稼働率を高めるための利用申請手続きのオンライン化の進捗状況や、予約のしやすさ、手続きの簡素化など、利用者目線での改善状況と課題について伺います。

3. 湖西運動公園、湖西市アメニティプラザなどにおけるネーミングライツの導入や広告掲載、民間資金の活用について当市の考えを伺います。

4. 公共施設の稼働率向上、収益化、民間活力の活用について今後新たな取り組みを伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 5 月 21 日

前
午 9 時 40 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 5 月 2 / 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 菅沼 淳



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	公共施設に設置されている自動販売機の設置者について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	公共施設に設置されている自動販売機の設置者について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市では、公共施設に設置する自動販売機について、目的外使用料を定めた条例施行から一年の移行期間に、目的外使用許可による公募・入札を行い、令和7年4月までに25施設の内12施設で一般競争入札が実施され、8施設で設置者が決定し、4施設は入札不調で自動販売機が撤去されたということでもあります。</p> <p>一方で、残る13施設については、公募対象外として運用されており、施設によって選定方法や管理が異なっている状況であります。</p> <p>公共施設に設置される自動販売機は、市民が利用する公共空間を活用するものであり、設置者の選定において公平性や透明性が求められることから、その運用状況について確認したく質問するものであります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市内公共施設に設置されている自動販売機は、市として適正に設置者が選定されていることを確認したい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>「公募・入札」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市役所庁舎の設置者募集要項では、県内又は市内に設置実績のある法人又は個人を応募条件としておりますが、自動販売機の設置・販売・管理を主たる業務としていない法人や個人についても応募可能であると理解してよろしいかお伺いします。 2. 8施設で決定された設置者と施設名をお伺いします。 3. 4施設で入札不調（自動販売機撤去）となった理由と施設名をお伺いします。 	

「公募の対象外とした施設」について

4. 公募対象外の内 11 施設は目的内使用と判断され、そのうち 6 施設のスポーツ施設は指定管理者に業者選定を一任しているようですが、指定管理者に選定を委ねる運用は、いつからどのような考えに基づき実施されているのかお伺いします。
5. 自動販売機の設置・販売・管理を主たる業務としていない設置者は、実際にどのような形で自動販売機の運営に関与されているのかお伺いします。
6. 設置者には、市から補助金等を交付されている非営利法人が存在していますが、補助金等の交付と公共施設を活用した収益事業との関係について市はどのように整理しているのかお伺いします。
7. 公共施設の自動販機設置について、使用料収入の適正な確保や公平性・透明性の観点から、施設設置課ごとに異なる契約方法を見直し、窓口や基準を統一するとともに、設置者の選定基準を明確にすべきと考えますが、市のお考えをお伺いします。

一 般 質 問 通 告 書

令和8年 6月 2 / 日

前
9時 43分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 5 月 21 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 神谷 浩幸 印
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	地域人材循環を基盤とした持続可能な産業政策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	地域人材循環を基盤とした持続可能な産業政策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市は製造業を基幹として発展してきた一方で、若年層及び女性の転出が続いており、産業構造の多様化と雇用機会の確保が課題となっている。この点については、これまでの議会において一定の共通認識が形成されていると認識している。また、人口減少及び人材不足が進行する中、地域産業を支える人材の確保や技能継承は重要な課題となっている。特に、地域企業や地域で働くことへの理解不足も、若年層の地域外流出の一因の一つであると考えられることから、産業政策とキャリア教育、地域人材育成を一体的に進める視点が必要である。</p> <p>こうした中、市長は観光を経済政策として位置づける考えを示しているが、観光消費額等の経済指標は導入されていない。また、産業振興ビジョンや観光基本計画においても「稼ぐ力」を測る成果指標は明確ではなく、施策と成果の関係が見えにくい状況にある。さらに、エネルギー価格の高騰等による企業活動への影響も懸念されている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>本市の産業政策における「稼ぐ力」の定義及び成果指標（KGI）を明確化するとともに、観光を含めた地域内経済循環及び地域人材循環の視点を踏まえ、エネルギー価格高騰等の外部環境の変化にも対応可能な持続可能な産業政策の在り方について、市の見解を明らかにする。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 産業構造の多様化と地域人材循環について</p> <p>これまでの議論において、産業構造の多様化及び女性・若年層の雇用機会の確保については一定の共通認識が形成されていると認識している。人口減少及び人材不足が進行する中、地域産業を支える人材育成及び地域内で人材が循環する仕組みづくりが重要であると考え。第6次総合計画第Ⅱ期において、地域企業理解、キャリア教育、産業人材育成</p>	

等をどのように位置づけ、どのような成果につなげようとしているのか伺う。

2. 産業政策における「稼ぐ力」と成果指標（KGI）について

本市の産業政策において、付加価値の創出、所得向上、地域内経済循環及び地域産業を支える人材確保・育成といった「稼ぐ力」をどのように定義し、その最終成果指標（KGI）をどのように設定しているのか伺う。

3. 観光の経済政策としての位置づけと指標の整合性について

第6次総合計画第Ⅱ期において、観光施策の位置づけが「交流」分野から「産業経済」分野へ整理された一方で、観光消費額や地域内消費といった経済指標が十分に導入されていない現状について、どのように整理し、施策へ反映しているのか伺う。

4. 交流人口の拡大と定住人口の増加の関係について

観光による交流人口の拡大が、どのように地域内の消費、雇用、所得及び地域への関心や地域理解の向上に結びつき、最終的に定住人口の増加や地域人材循環につながると考えているのか伺う。

5. 地域内経済循環型産業政策の構築について

人口減少社会においては、「地域で稼ぎ、地域で人を育て、地域で循環する構造づくり」が重要であると考えます。

地域内経済循環及び地域人材循環を共通する成果指標として位置づけ、産業政策、観光政策及びキャリア教育等を一体的に推進する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

6. エネルギー価格高騰等による中小企業への影響と緊急対応について

中東情勢等を背景とした国際情勢の変化により、エネルギー価格の高騰や原材料の供給不安が懸念されており、第一次産業を含む市内中小企業の操業や事業継続に影響を及ぼす可能性があると考えます。本市において、こうした状況が市内事業者に与える影響をどのように認識しているか。また、現在実施している物価高騰対策に加え、事業者の操業継続及び経営維持に向けた支援について、どのように対応していくのか伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 5 月 21 日


前
午 11 時 10 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 5 月 21 日

湖西市議会議長 神谷 里枝様



湖西市議会議員 福永桂子 
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	高齢者のデジタル活用支援について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	高齢者のデジタル活用支援について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近年、行政手続、防災情報、医療、金融等、社会全体のデジタル化が急速に進んでいます。国は「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げ、令和3年度から総務省による「デジタル活用支援推進事業」を推進しています。</p> <p>湖西市においても、様々なデジタル活用支援を提供してきましたが、令和7年度でこれまで郵便局と連携したスマートフォン支援等の事業を終了しました。その背景には、利用実績が伸び悩んだことも一因とされています。一方で、スマートフォン操作、LINE活用、防災情報取得、デジタル詐欺への不安などを抱える高齢者は依然として多いのが現状です。特に湖西市は、南海トラフ地震や津波災害等への備えが重要であり、災害時におけるスマートフォンを通じた早急な情報取得の重要性は高まっています。また、行政情報だけでなく、地域活動やコミュニティにおいても、LINE等のデジタル活用が進んでおり、スマートフォンを上手く利用できるかどうか、人とのつながりや情報取得にも影響する時代になっています。これからは、単に支援を行うだけでなく、どのような支援が利用されるのか、なぜ利用につながらなかったのか、高齢者にとって利用しやすい形は何かなど、検証と改善が重要であると考えます。</p> <p>そのような中、藤枝市では、民間委託による移動型デジタル支援「スマホ何でもサポート号」を開始し、地域へ出向く伴走型支援を始めています。また、荒尾市では、民間事業者委託による「スマホ教室カー」を運営し、地域巡回型支援を進めています。</p> <p>行政DXが進むほど、デジタル支援の必要性は高まることから、湖西市でも、これまでの取り組みを踏まえた実態に合った支援体制が必要と考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>これまでのデジタル支援事業の成果や課題を検証するとともに、高齢者等が安心してアクセスできる支援体制について、市の考えを確認し、単</p>	

発講座型だけでなく、地域に出向く形態を含めた今後のデジタル支援の方向性について伺います。

(質問事項)

1. これまで実施してきたデジタル支援事業、特に郵便局連携によるデジタル支援事業について、利用状況、成果、課題等をどのように分析しているか伺います。
2. 高齢者を中心に、デジタル活用等に不安を抱える市民が依然として存在すると考えます。スマートフォンを利用できないことによる情報格差や孤立の懸念について、市はどのように認識しているか伺います。あわせて、実態把握をどのように行い、利用状況等について分析・把握しているか伺います。
3. 災害時にはスマートフォンを通じた情報取得が重要となります。高齢者等が、避難情報、ハザードマップ、防災アプリ、緊急情報等を適切に活用できる環境整備について、市の考えを伺います。
4. これまでの固定拠点型・単発講座型支援だけでなく、地域に出向き支援を行う必要性について、市はどのように考えているのか伺います。また、藤枝市や荒尾市のような移動支援について研究し、取り入れていく考えはあるか伺います。
5. 「誰一人取り残さない行政 DX」の観点から、高齢者等へのデジタル支援を今後どのように進めていく考えか伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

2026年 5月 21日

前
午11時42分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2026年 5月 21日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 相曾 桃子[Ⓜ]
(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	少子化時代における保育・教育施設のあり方について
2	環境基本計画に基づくごみ減量及び生物多様性保全について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	少子化時代における保育・教育施設のあり方について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近年、少子化が急速に進行する一方で、共働き世帯の増加や就労形態の変化などにより、保育ニーズは高まりを見せている。その一方で、幼稚園利用者数は減少傾向にあり、幼児教育・保育を取り巻く環境は大きく変化している。湖西市においても、園児数が減少している施設や、運営維持が課題となりつつある施設が見受けられる一方、地域や年齢によっては入所待ち児童が発生しており、保育需要とのミスマッチも生じている。また、多くの施設で老朽化が進み、今後は改修や建替え、多額の維持管理費用への対応も必要となることが想定される。さらに、保育・教育施設は単なる子育て支援施設ではなく、地域コミュニティや子育て世帯の居住選択にも大きな影響を与える重要な地域インフラであることから、施設配置のあり方は、湖西市総合計画をはじめとした今後のまちづくりの方向性とも密接に関係している。湖西市立学校再編検討委員会（白須賀地区）について、令和8年3月に学校再編検討結果報告書が報告されている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>まちづくりとの整合を図りながら、安心して子育てできる環境整備につなげること。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 令和7年度第2回湖西市子ども・子育て会議でも議論された、子ども・子育て支援事業計画における、「第5章教育・保育事業の量の見込みと確保の方策（子ども・子育て支援事業計画）」の「1 基本的な考え方（2）こどもの人口推計」、「2 教育・保育の量の見込み（2）教育・保育の量の見込みと提供体制の確保」の令和7年度の見込みと実績値をどのように評価しているのか伺う。</p> <p>2. 入所待ち児童の解消に向けて対策1の「公立園の定員拡充」について</p>	

て、令和7年度の実績と今年度の見込み、湖西市公共施設再配置個別計画を含めた定員拡充方法を伺う。

3. 入所待ち児童の解消に向けて対策2の「民間保育施設の新設」の見直しがされ、「民間園の定員の弾力運用を解消し、市単費による補助金制度を創設する」とされているが、民間園との協議の進捗状況を伺う。

4. 持続可能な保育・幼児教育環境の維持に向け、公立・民間施設それぞれの役割をどのように考えているのか伺う。

5. 保育・幼児教育環境の維持、施設更新、地域バランス、民間施設との連携、立地適正化計画や公共施設等総合管理計画が目指す、持続可能なまちづくりの方向性と、子育て環境の維持・充実をどのように整合させていくのか、湖西市の考え方について伺う。

6. 学校再編検討結果報告書では「今後、白須賀地区の学校再編については、本報告書の内容や保護者及び地域の方々から寄せられた多様な意見、これまでの検討経過等を十分に踏まえながら、「子どもたちにとってよりよい教育環境の充実」という観点から、市及び教育委員会において速やかに検討を進め、総合的に判断します。」と記載している。市および教育委員会において、今後の検討や判断を下すにあたり、「子どもたちにとってよりよい教育環境を充実させること」がすべての根底にある、最優先の基本的な考え方であるという認識から変わりがなければ見解を伺う。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	環境基本計画に基づくごみ減量及び生物多様性保全について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市では、環境基本計画において、ごみ減量や資源循環の推進、生物多様性の保全などを重要な施策として掲げている。一方で、ごみ分別方法の見直しにより市民負担軽減が図られる反面、再資源化可能なプラスチック類の活用や資源循環施策について、市民への周知や取り組みの見えにくさも感じられる。また、市が推進するキエーロ等の生ごみ減量施策についても、十分に認知が広がっているとは言い難い状況がある。さらに、環境基本計画では特定外来生物による生態系への影響が課題として示されているものの、具体的な対策や市民周知については十分に見えにくい状況である。環境基本計画に掲げる施策を、実際の市民行動や地域での取り組みにつなげていくことが重要である。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>ごみを減らす取り組みと特定外来生物の現状認識と今後の方向性について確認すること。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 令和7年度実施事務事業評価「廃棄物対策事業」では「ごみの減量、リサイクルへの関心を高めるきっかけが図れている」と評価しているが、市の推進しているキエーロの生ごみ減量施策や生ごみ減量化容器等購入補助金の申請件数などの現状認識と今後の方向性について伺う。</p> <p>2. リサイクルとして、古紙・古布、インクカートリッジ、パソコン・携帯電話、子供服のリユースなど取り組みを行っているが現状の課題と今後の方向性について伺う。</p> <p>3. プラスチック資源循環の観点から、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収が注目されており、全国の多くの自治体が民間事業者と協定を結び、公共施設へ回収ボックスを設置するなどの取り組みを広げてい</p>	

る。県内ではまだ本格的な導入自治体がない状況だが、市民にとって身近な資源回収の選択肢を増やすという意味でも、本市としてこうしたコンタクトレンズケースのリサイクル事業へ参加・連携するお考えはあるのか伺う。

4. 湖西市鳥獣被害防止計画は、農畜産物を守ることを目的としている。湖西市環境基本計画では、「本市においても、動物ではアライグマやヌートリアなど、植物ではオオキンケイギクやアレチウリなどが確認されています。そのほか浜松市の市街地を中心としてクリハラリス（タイワンリス）の分布が拡大しています。更に拡大した場合に、みかんなど本市の主要農産物への影響が生じることが考えられます。既に侵入しているものの駆除や、これからの侵入防止に向けた取組が必要です。」と記載されている。本市における特定外来生物、条件付特定外来生物アカミミガメ・アメリカザリガニに対する取り組み状況を伺う。

5. 外来生物や外来植物（オオキンケイギク等）について、市内でも多くの目撃情報や繁茂している状況が確認される。現状、積極的な駆除に至っていない理由や課題を伺う。先進自治体では、駆除した外来生物を単に処分するだけでなく、堆肥化して有効活用する仕組み（バイオマスの取り組み）など、地域資源として循環させる先進的な事例もある。将来的な生態系や主要農産物への深刻な影響を見据えたとき、現在の対応のままで十分とは言えない。将来へのリスクを踏まえ、市として一歩踏み込んだ駆除体制の構築や、先進事例を参考にした有効活用の検討を進める等今後の方向性を伺う。

以上

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 5 月 21 日

前

午後 9 時 48 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 5 月 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 二橋 益良



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市指定避難所の開設・運営について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市指定避難所の開設・運営について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>地震発生に伴い津波警報により即座の避難行動が求められる地域また発生後自宅での生活が困難になった人の為には、湖西市指定避難所の開設や運営が求められます。静岡県は「避難所運営マニュアル」において県内市町では、自主防災組織において取り組みがなされ近年では、温暖化現象により大地震のみならず風水害対応による避難所開設にも力を入れていかなければなりません。南海トラフ地震が発生した場合県下では、130万人もの避難者が発生すると想定されています。静岡県が問題意識を喚起するため開発した「避難所運営ゲーム（HUG）」等も体験しつつ地域の特性を踏まえたマニュアル等を作成し、避難所運営や平時の備えに取り組んでいただきたいと指示されたところでもあります。そこで「湖西市指定避難所マニュアル」に基づき実践的な運用を図るよう求めます。防災訓練時には、避難所開設・運営に至る行動の実務を確立し、いつ起こるとも限らない災害に備え行動をとる事こそ肝要と存じます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市指定避難所の開設・運営における実践的確立を伺います。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各自主防災組織での指定避難所の開設・運営状況をお聞きします。 2. 避難所開設のための施設点検・開錠・受入れ準備は、確立されているか。 3. 運営本部の設置や活動班の編成に関わる取り決めはどのようになっているか。組織での活動状況の把握は、どのようになるのか。 4. 避難所内における、食料・物資の配布は、どのような手順になっているか。 5. 市災害対策本部と指定避難所との連携は、どうなっているか。 6. 指定避難所として民間施設等を利用する考えはないか。 	

7. 生活ルールの取り決めやプライバシーの保護、要支援者、夜間の安全対策等についてはどうなっているか。

8. 指定避難所防災倉庫資機材は、必要な量が備蓄されているか。

9. テント、簡易トイレ、発電機等の資機材の補充は、どのようにされるのか。資機材の高度化は、年々進んでいるが導入の検討をどうされるのか。

10. 在宅被災者に対する食料、物資の供給はどのようになっているのか。

11. 物資支援に対するヘリポートの確保は、どのようになっているのか。

12. 安否確認のための情報は、どのように対応するのか。

13. 避難所運営は、避難者の協力体制と自主運営が原則であるが避難者がお客さん扱いにならないよう実践訓練が必要と考えるがどうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書


令和8年 5月21日
前
午後 9分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和8年 5月 11日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 山口 裕教 
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	浜松湖西豊橋道路について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	浜松湖西豊橋道路について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>浜松湖西豊橋道路は、高速道路へのアクセス性の向上、災害時に於ける応急活動や支援物資の輸送の強化、渋滞緩和や生活道路の安全確保、広域交流の促進など非常に大きな利点が期待でき、多くの市民が早期実現を熱望する重要な道路です。ただ反面、大知波・神座・梅田地区などルート計画内の地権者の方達に於いては住居の立ち退きや、生活の糧となる田畑の買収などによる不安を生じているのも事実です。例をあげますと、「事業説明や補償の話合いはいつ頃なのだろうか」、「今後の手続きはどう進められていくのか」、「お祭り用の山車の移動は出来るのだろうか」、「交差する市道は今後も通れるのだろうか」など、事業そのものだけでなく、今後の生活のことから地域の行事に関わることまで、様々な声が私のところにも寄せられています。</p> <p>そこで今回、近隣住民や地権者の方達の不安を少しでも解消し納得して頂きたいと考え、質問致します。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>多くの市民が早期実現を熱望する浜松湖西豊橋道路であるため、都市計画原案に於ける地権者や近隣住民の方達の不安や疑問点を少しでも解消し納得して頂くための質問です。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. <u>事業化及び用地買収に向けた見通し（スケジュール）を伺う。</u></p> <p>2. <u>交差する市道や水路はどのように回復させるのか。</u></p> <p>3. <u>本市に IC が設置された場合に想定される整備効果を伺う。</u></p> <p>4. <u>住民の不安や疑問に対し、市の対応を伺う。</u></p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること